授業科目	生徒指導論					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	秋山　俊史						
授業概要	生徒指導の意義及び内容を理解し、子どもの意識と行動の変化や抱えている問題、及び効果的な指導方法・指導体制等について解説する。また、子どもや学校をめぐる事件・事故や災害などの危機に対応する方法を検討する。						
授業形態	講義と演習			授業方法	グループディスカッションを実施し理解度を深めるとともに、表現力、説明力を養う。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 生徒指導の意義・内容を説明できる。 2. 生徒理解や予防的・開発的生徒指導の必要性を理解し、実践することができる。 3. 子どもや学校をめぐる事件事故・災害等への危機管理について説明することができる。 4. 生徒指導に関する教育課題の対応策について、自らの考えを的確に伝えたり小論文にまとめたりすることができる。 〇子ども達の問題行動の要因について理解している。 〇子ども達の問題行動について、対応の在り方を理解して論　述することができる。 〇子ども達の安全を守るには、どのような教育方法があるのか、述べることができる。
理想的レベル	〇子ども達の問題行動の要因を理解している。 〇全ての子ども達の好ましい人格の発達と、自己実現のため　の援助者としての教師の役割や指導方法について理解し、論述文としてまとめることができる。 〇子ども達の安全を守るためには学校・教師はどう行動すべきか、また、子ども達自身が自分の生命や安全を守るようになるためにはどのような教育が必要であるのかについて理解し、発表・論述することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考

試験	50%	
小テスト	10%	
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物		
その他	10%	授業への積極的な参加姿勢

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU34114J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：次授業の確認　新聞やテレビでのニュースなど、教育に関する課題をチェックし自分の考えをまとめる。 復習：該当部分の復習　授業内容における興味や疑問、自分の考えなどをまとめる。	4

授業計画	
第 1 回	テーマ:オリエンテーション授業概要の説明 生徒指導とは 教師の社会的使命とは 教育基本法、中央教育審議会答申等から分かる生徒指導の役割について考察
第 2 回	テーマ:人はどのように社会性を身に付けるのか 人間の発達と教育、発達課題と思春期危機について解説
第 3 回	テーマ:社会の変化が、子ども達にどのような影響を与えているか 都市化・少子化・高度情報化の影響についての解説 校則に対する考え方の変容について解説 論文の書き方についての解説
第 4 回	テーマ:予防的・基本的な対応と体制づくり 危機管理意識、児童生徒理解についての解説 生徒指導体制の確立について解説
第 5 回	テーマ:予防的・小中一貫連携教育とは 現状と課題　小中一貫・連携教育野目的　対応についての考察
第 6 回	テーマ:問題行動の早期発見と効果的な指導

	問題行動についての理解、　喫煙、飲酒、薬物乱用、暴力行為について解説
第 7 回	テーマ：問題行動への対応 事例を活用し、具体的な対応についてグループディスカッションで検討し発表する。 具体的対応についての考察
第 8 回	テーマ:不登校の早期発見と効果的な指導 不登校の定義とこれまでの変遷過程、対応についての解説
第 9 回	テーマ：不登校児童生徒への対応 具体的な対応についてグループディスカッションで検討し発表する。具体的対応についての考察
第 10 回	テーマ:いじめの早期発見と効果的な指導 いじめ問題の理解、いじめ問題への対応についての解説
第 11 回	テーマ：いじめへの対応 具体的な対応についてグループディスカッションで検討し発表する。具体的対応についての考察
第 12 回	テーマ:自己効力感を育むために 小中連携ＳＵＴＥＫＩアンケートを活用して、自己効力感について解説
第 13 回	テーマ：問題事象及び生徒指導に関する小論文テスト
第 14 回	テーマ:児童虐待 児童虐待の現状や防止について解説 教職員の法的責任と対応の在り方について解説
第 15 回	テーマ：総合論文試験
テキスト	「生徒指導提要」文部科学省　＜東洋館出版社＞

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ＨＰ：北九州市教育委員会生徒指導課　生徒指導課ページ一覧「北九州市いじめ防止基本方針」等
課題に対するフィードバックの方法	毎回提出するレポートは、次時にコメントを付けて返却する。またその際に共有すべき課題や意見について解説する。
学生へのメッセージ・コメント	○新聞報道等に取り上げられている教育に関するニュースや、学校・子ども達をめぐる事件や事象に関心を持ち、記事を精読することにより背景や経緯を理解しておく。 ○文部科学省より発表された「中央教育審議会」答申について通読しておく。 不明な生徒指導上の文言や答申等については、書籍やインターネット等で調べ、まとめておくこと。特にテキストとして活用する「生徒指導提要」は、学校における生徒指導のバイブルであるため熟読しておくこと。また、生徒指導に関する実践的なことは遠慮なく質問していただきたい。